

市民記者が行く！広報サポーターレポート

三河湾国定公園を訪ねて



広報サポーター
三浦允之さん
(細池町)

宮崎地区・幡豆地区は、三河湾国定公園に指定されています。その景観をレポートします。

国道247号の「東幡豆上畑」交差点を北上して三ヶ根山の登山道へ入ると、間もなく「三河湾国定公園」のプレート(写真A)を見つけた。そこは周りを木立に囲まれているが、少し登ると視界が開けて、眼下に三河湾を展望することができる。さらに登り続けると白い建物のグリーンホテル三ヶ根(写真B)にたどり着いた。この建物は三河湾の淡いブルーとの



コントラストが絶妙で、実に美しい。三ヶ根山の山頂は起伏の緩やかな丘陵が続いており、ホテルはその丘陵の南端部に建てられている。三河湾を展望するには絶好の場所だ。

ホテルに着くと、撮影の許可を得て、最上階の6階から三河湾を展望した。右側から知多半島が、そして左側からは渥美半島が伸びて三河湾を抱え込んでいる様子がよく分かる。さらに両半島の間にある島々によって、伊勢湾からの波浪が遮られるからであろうが、三河湾は実に穏やかであった。早速カメラを取り出して近くの海岸を俯瞰した。高所から眺める景色は格別で、まさに鳥の目線で見えた光景である。

これらの各地は昨年の夏に巡り、カメラに収めた。写真456

見てきたとおり、宮崎地区・幡豆地区は、景色の美しさだけでなく、潮干狩りのできる遠浅の海、そして海水浴ができる海辺と、変化に富んだ所である。

こうした恵まれた風土を多くの方々に知っていただき、地区のさらなる発展を心から願うものである。



1 カメラを西側に向けると、遠くに宮崎の吉良ワイキキビーチが見える。ハワイを連想させる光景である。



2 次にカメラを少し東側へ向けて東幡豆港を撮った。中央の岬の向こう側に寺部海岸が見える。



3 カメラをさらに東へ向けて前島と沖の島を撮影した。右下の岸辺に妙善寺(ハズ観音かぼちゃ寺)も見える。



4 宮崎の吉良ワイキキビーチ。夏は海水浴客でにぎわう。ハワイアンフェスティバルも開催されて南国情緒で満たされる。



5 宮崎をたつて海辺を東へ進み、寺部海岸を過ぎると、東幡豆港に着いた。三ヶ根山の山麓で採石された花崗岩が積み込まれていた。花崗岩は、マグマが地下深くで固まってできた火成岩の一種で、微細な多孔室でできており、水を濾過する作用がある。この濾過水を用いておいしい日本酒が造られる。



6 東幡豆港をたつて東へ進み、かぼちゃ寺の前を通り過ぎて間もなくすると、前島の対岸に着いた。潮が引いて干潟が現れていた。いわゆるトンボ口干潟だ。満ち潮によって運ばれてきた砂が陸地と島の間で堆積してできたものである。春先には潮干狩りにでぎわう。

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。

